

おとな
成人の

予防接種記録手帳

医療機関名

氏名： _____



弥富市健康推進課（令和8年3月）

はじめに

年齢を重ねると体力や免疫力が低下し、感染症等にかかるリスクが高まります。予防接種を受け、記録を管理しておくことは、ご自身や周りにいる大切な方々を感染症から守るためにとっても大切なことです。

このワクチン手帳は皆様の予防接種の記録として生涯大切に保管されることを願い作成いたしました。

基本的にはご自身で接種記録を見ながら書き写して、接種記録のコピー、予防接種済証等を貼付してください。予防接種のみならず医療機関を受診する際は、この手帳をご持参いただき是非ご活用下さい。

予防接種の分類




区分	内容	費用
●定期接種	予防接種法による接種	無料または一部自己負担
○任意接種	個人の希望により接種	全額自己負担または一部市の補助がある場合あり

主に65歳以上の方を対象にしたワクチン

ワクチン名	病気の特徴	接種対象者	接種回数
肺炎球菌感染症	肺炎球菌は、高齢者の肺炎の原因となる頻度が最も高い病原体です。肺炎の悪化、気管支炎、肺血症などの重い合併症を起こすことがあります。	●定期接種 ①65歳以上 ②60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器に障害がある方<身体障害者1級程度>またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害のある方 ○任意接種 50歳以上で可	1回

<予防接種済証（写し）貼り付け欄>

<予防接種済証（写し）貼り付け欄>



ワクチン名	病気の特徴	接種対象者	接種回数
インフルエンザ	高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が急速に出現します。高齢者や免疫力が低下している方では、肺炎等重症化するリスクが高くなります。	●定期接種 ①65歳以上 ②60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器に障害がある方<身体障害者1級程度>またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害のある方 ○任意接種 65歳未満でも可	秋～冬 年1回
新型コロナウイルス感染症	発熱や呼吸器症状を引き起こし、高齢者や基礎疾患のある方は、重症化するリスクが高くなります。	○任意接種 65歳未満でも可	秋～冬 年1回
带状疱疹	体の中に潜伏していた過去に感染した水ぼうそうウイルスが再活性化し、神経に沿って帯状に痛みを伴う水ぶくれを出現させます。 高齢者や基礎疾患のある方では、免疫力が低下しているため、発症しやすく、神経痛が残って強い痛みが長期間続くこともあります。	●定期接種 65歳の方 (令和7年度から5年間、70歳以上で、5歳ごとの年齢の方も対象) また、60～64歳でヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害のある方(身体障害者1級程度) ○任意接種 50歳以上で可。 また、発症リスクが高い18歳以上の方は組換えワクチン接種可	生ワクチン 1回 組み換え ワクチン 2回
RSウイルス感染症	発熱、鼻水等の軽症から、喘鳴、肺炎や呼吸困難に至ることがあります。特に慢性呼吸器疾患等の基礎疾患を有する方は、急性の重症肺炎を起こす場合があります。	○任意接種 60歳以上または50歳以上で重症化するリスクの高い方は、接種可	1回

<参考> 厚生労働省ホームページの予防接種・ワクチン情報

